

消費税増税阻止

運動情報 <No.66>

●発行日 2015年3月5日
●発行 消費税廃止各界連絡会
豊島区目白2-36-13(全商連内)
Tel:03-3987-4391/Fax:03-3988-0820
URL:http://shz-haishi.jp/

国会要請・「景気条項削除」で対話に

3月4日の各界連国会要請行動では衆議院財務金融委員を訪ね、消費税増税法の景気条項削除・改悪案について、切実な声を届け、意見を聞きました。要請前の打ち合わせでは参加者が意見交流。税経新人会の平石共子税理士は「顧客の企業がどこも納税に頭を悩ませている。署名の意義を知らない人に、国会でどのように取り扱われるのか伝え、増税反対の声を大きくしたい」。千葉県各界連の橋澤政美さんは「ペットボトル1本の米価は60円。こんな国のあり方でいいのか」と怒りをぶつけました。日本共産党から7人の議員が参加して請願署名を受け取りました。

//要請行動報告書より//

○鬼木誠議員(自民)・秘書

「議員は違う考えですが、私個人は、法人税は上げるべきでない。みなさんと一致できる考えもあります」

○吉田豊史議員(維新)・秘書

議員室に通してお茶が出た。ゆっくり話を聞いてくれた。要請内容については本人に良く伝える。

○山田美樹議員(自民)・秘書

早く帰って欲しそうに、話していないときも相槌を打っていた。

○根本幸典議員(自民)・秘書

最初の女性は中小業者の実態に共感してくれたが、途中から出てきた男性は「とりあえず渡しますから」といらだっていた。

○丸山穂高議員(維新)・秘書

「今日の委員会で18条3項を削除後、景気悪化したらどうするか質問する。麻生大臣の答弁に注目を」。

○柴山昌彦議員(自民)・秘書

「増税で生活が苦しい」には共感してくれた。

○玄葉光一郎議員(民主)・秘書

「議員には伝えるが、提案側なので。(三党合意のことか、対案を提出しているか不明)。ただし附則18条3項の削除は無理がありますね」。

○御法川信英議員(自民)・秘書

「与党です。議員の考えはわからないが伝えます」。

○井林辰憲議員(自民)・秘書

「(増税時期の景気が悪かったら確かに大変ですね)」。

○中山展弘議員(自民)・秘書

以前要請したことを覚えていて「前も見えられましたよね。議員に伝えます」と地元を意識してか低姿勢。

○津島淳議員(自民)・秘書

中小業者が大変というのはわかる。福祉など総合的に見て増税は必要。外形標準課税は問題があると思うので慎重にすすめたい。

◆国会議員の一言スピーチから◆

宮本岳史議員は、「法案の審議日程が拙速。山場は13日か」と国会情勢報告。梅村早映子議員、島津幸広議員は増税中止運動を一緒に続けてきた仲間でもあり、「これまでの蓄積を国会に反映する」と力強く決意。3月3日の質問で福岡の業者の実態を取り上げた真島省三議員は、「町工場の声を国政に届ける」。実家が宮城県で飲食業を営む畠山和也議員は、「膨大な実務負担を押し付けられる業者の実態を見て育った」。清水忠史議員は、「消費税の歴史は戦費調達史の歴史。基幹税化は大量滞納を生み安定財源とは言えない」。愛知県豊田市出身の本村伸子議員は、大企業優遇税制について追及すると表明しました。

このニュースは県各界連・加盟団体へ送っています。増し刷りしてご活用ください。